

角館の文化の中心には必ず青亭が存在していた



荒川青亭

没後40年
SEITEI ARAKAWA
日本画展

同時開催 平福穂庵・百穂展

仙北市立角館町平福記念美術館

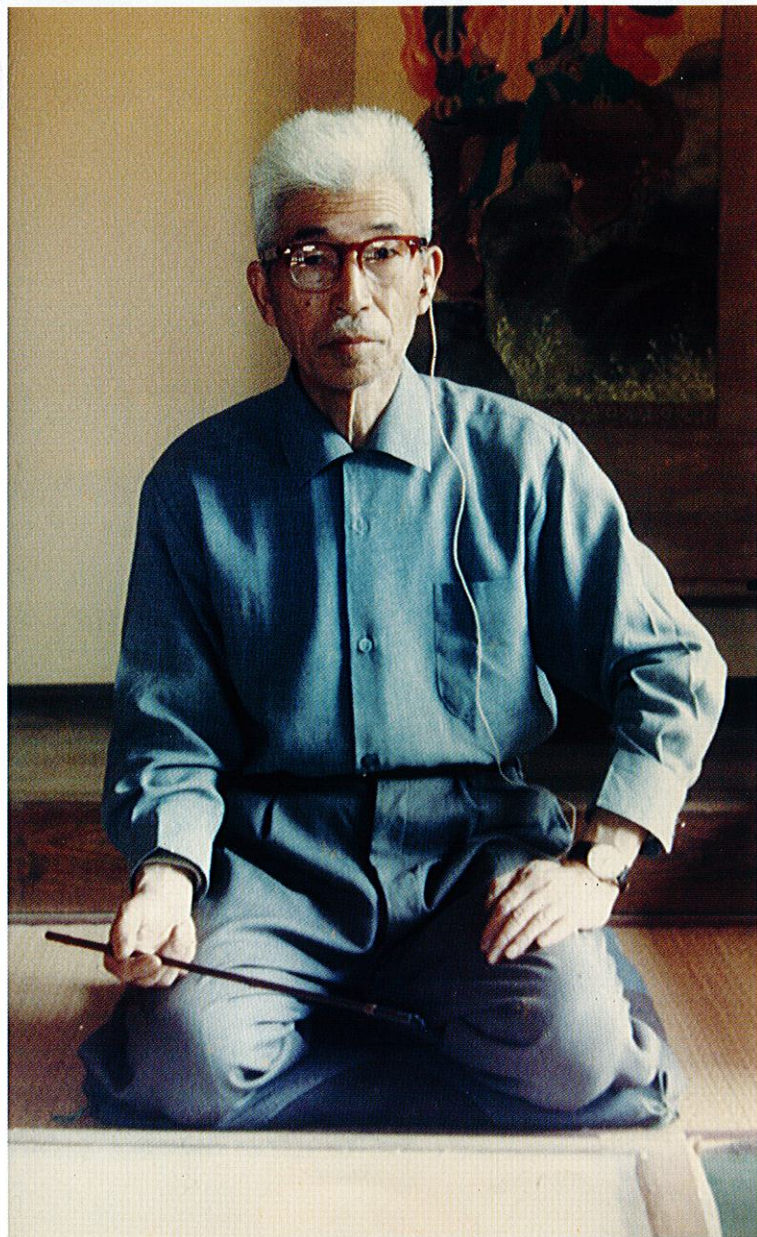
会期 平成29年8月1日(火)～9月24日(日) *会期中は無休

開館時間／午前9時～午後5時(入館は4時半まで) 観覧料／一般300円 小中学生200円 *仙北市民は無料
〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4 《JR角館駅より徒歩20分》電話0187-54-3888 FAX 0187-54-3890

没後40年 荒川青亭 日本画展

ARAKAWA

SEITEI



ごあいさつ

あらかわせいてい

当美術館では、郷土が生んだ日本画家荒川青亭の没後40年の節目にあたり、標記展覧会を開催する運びとなった。

青亭は明治27年(1894)、秋田県角館町中町に荒川吉蔵の長男として生まれ、本名を吉治といい、幼少期から画家になる夢を抱いていた。

ひらふくすいあん

にしのみやれいわ

16歳の時、平福穂庵(1844-1890)門人の西宮礼和(1850-1920)から絵の手ほどきを受け、「和儼(わせん)」の画号をもらった。22歳の時には、日本画家結城素明(1875-1957)に師事し、「惠州(けいしゅう)」と号した。その後、平福百穂(1877-1933)とも親交の深かった日光出身の日本画家小杉放庵(1881-1964)と出会い、放庵より「青亭(せいいてい)」の号を授かり、以来、昭和52年(1977)に83歳でこの世を去るまで、青亭の名で名作を描き続けた。

青亭は、地元秋田で活躍した画家で、故郷の風光明媚な山河湖沼を、诗情あふれる筆致で描く風景画を得意とした。画家としての才能は、神社の大絵馬や祭りの人形作り、また絵付け春慶塗りなど、郷土の文化に多方面に発揮され、人々を魅了した。絵画以外でも多趣味で、弓道や自由律俳句などその活躍は枚挙に暇なく、角館の文化の中心には必ず青亭が存在していた。また、青亭は秋田出身の画家たちとの「秋田美術社」創設、各種展覧会審査員、角館高校美術講師など、秋田の芸術普及活動にも積極的に関わった。

この度は、秋田の自然や芸術を愛した青亭の、魅力あふれる作品の数々を展示し、その画業を回顧する展覧会である。開催に当たり、ご協力いただいた関係各位に感謝の意を表する次第である。

荒川青亭展出品作品

午さがり(額装)	青亭	みちのくの冬山(軸装)	惠州
クニマス(額装)	青亭	太平山(屏風二曲一隻)	青亭
雪景色(扁額)	惠州	富士(大)(軸装)	青亭
雪景山水(軸装)	和儼	不動明王(軸装)	青亭
抱返り(軸装)	青亭	恵比寿・大黒(軸装対幅)	惠州
夜桜(額装)	青亭	富士(中)(軸装)	青亭
枝垂れ桜に古城山(額装)	青亭	虎(軸装)	青亭
武家屋敷(額装)	青亭	果雪(軸装)	青亭
田澤湖御座石(軸装)	青亭	田澤湖瀉尻(軸装)	惠州
木の間の春(軸装)	青亭	羽後檜湖之図(軸装)	惠州
花場山(軸装)	青亭	麻蒸(軸装)	惠州
暮るる深山(軸装)	青亭	麻蒸(俳句・大越吾亦紅)(軸装)	惠州
頭塔の森(軸装)	惠州	スケッチ帳	
古城山(額装)	惠州	青亭愛用品	

* 予告なしで展示替える場合がございます。ご了承ください。

会期 平成29年8月1日(火)～9月24日(日)

開館時間/午前9時～午後5時(入館は4時半まで)

〒014-0334 秋田県仙北市角館町表町上丁4-4

《JR角館駅より徒歩20分》電話0187-54-3888 FAX 0187-54-3890

